

# 第8回 菱野団地再生計画推進協議会

## 議事要旨

日時：令和8年2月26日（木）午後1時30分～午後3時30分

場所：瀬戸市役所 北庁舎4階 庁議室

### 1. 開会

- あいさつ
- 委員紹介
- 資料確認

### 2. 令和7年度の活動状況等（資料1、および資料1-2）

- 事務局、みんなの会事務局長からの資料説明

渥美委員 活動拠点の家賃問題や瀬戸市からの草刈り業務委託が来年度から継続困難なため、現在財政状況が極めて厳しい状態にある。

このままだと令和9年度には資金不足のため拠点維持が不可能となってしまう、活動拠点を閉鎖せざるを得ない選択を迫られている。この協議会の皆さまにも協力していただき、活動拠点の継続・維持のために知恵を絞っていただきたい。

- 質問・意見交換等

伊原客員准教授（早稲田大学） 年々、みんなの会や住民バスに対する市からの財政的な支援が少なくなっているがみんなの会や住民バスの価値を改めて見直し、現在行っている活動を維持していくことの価値を数値などで示し、分析することが大切だと考える、事務局にはぜひ検討していただきたい。

石川会長 定量的な分析はしていかなければならない。大学側も何かお手伝いできればと思う。みんなの会から活動をしていく中で感じたことなどあればお話しいただきたい。

北村委員 駄菓子屋を日曜日と祝日以外毎日開けることによって子供たちが気軽に来てくれて、相談なども受けることが多くなってきていることを感じる。また、光陵中学校の光陵フェスティバルの授業に参加するようになってからは、ひしのミナクルに以前より多くの中学生が来てくれるようになった。

ひしのミナクルの前が新しく開校するみつば小学校の通学路になるため、子供たちのことを今より考えていかなければならないと感じている。

石川会長 昔よりも子供たちが少なくなり、子供たちの交流も少なくなっている。アクセスしやすい菱野団地の中心部にひしのミナクルがあることにより、様々な交流が生まれており、活動拠点というものはとても大事だと感じる。

大秋委員	現状を見ていると中央広場の問題だけではなく、周辺の商店街などの問題もとらえて菱野団地の再生を考えていく必要があると考える。
服部委員	菱野団地内のさまざまな団体と連携して情報発信などを行うことで、子供たちに地域で行われている活動について、もっと広く知ってもらえると考えている。
水野委員	ひしのミナクルは子供たちが集まるサードプレイスの役割になりつつある。子ども家庭庁の基本理念に近い、貧困や児童虐待の子供をキャッチする窓口的な要素が子供カフェなどのひしのミナクルでの活動を通じて見えてきたところだ。そのため行政の方々もハード的な整備も大切だが、福祉の担当課などと連携して知恵を出し合って計画を進めていっていただきたい。
鈴木委員	持続可能な活動資金を確保するため、活動拠点などにネーミングライツを募集することで企業から資金を集める取り組みもある。調べたところネーミングライツを募集している場所も多いため検討してみてもどうか。
服部委員	民間企業からの寄付金を集めようとする税制優遇ができるような形にならないため NPO 法人ではなく認定 NPO 法人になる必要がある。現在私たちの法人でも認定 NPO 法人になるために国の厳しい審査を受けている。行政が認定 NPO 法人になるための条件を緩和することができるため、今後みんなの会が寄付金を集めやすくなるよう行政の方には認定 NPO 法人の認定条件の緩和をお願いしたい。
水野委員	現在みんなの会は NPO 法人化することも難しいため、認定 NPO 法人になるのはかなり難しい話。
大秋委員	NPO 法人化をして民間企業からの寄付を受けることも活動資金の面で考えると大切だが、みんなの会の活動拠点で収益を生むためにどのような活動を行っていくかを考えていくことも今後重要になってくると思う。
石川会長	資料を見るといろいろな活動を行っていると感じるが、学生やみんなの会も苦勞をしながら活動していることを様々な人たちに理解していただく必要がある。 ひしのミナクルという場所があることで学生たちの拠点となり、活動しやすい環境になるため、この活動を継続し、拠点を維持していくことが重要だと感じる。

### **3. 再生計画のプロジェクト進捗状況・予定（資料2）**

○事務局からの資料説明

○質問・意見交換等

北村委員	⑥駐車環境の改善 について、令和 7 年度の実施状況が「未実施」となっているが、原山台連合自治会に商店街の駐車場の駐車マスを広くしてほしいという要望があった。原山台連合自治会が動いて対応したため未実施ではないのではないか。もっと地元との連携を密にとっていくべきだと思う。
事務局	商店街の駐車場の件については把握できていなかった。 路上駐車の対策について意見交換を行う予定だったが、昨年度実施できなかったため

- 未実施とした。自治会との情報交換なども含めて反省として次に生かしていきたい。
- 石川会長 今後も地元自治会との連携を取り、考えを把握しながら進めていただきたい。菱野団地の開発時と比べて団地住民の車の保有台数も変化しており、駐車場が不足しているため、引き続き瀬戸市には対応をお願いしたい。
- 渥美委員 拠点施設の維持に向けて継続的に公社と意見交換を行うとあるが、現在のみんなの会の財政状況では令和9年度以降の拠点施設の維持が非常に困難になる。この意見交換はいつごろまでにどのような着地点を出すことを想定しているのか伺いたい。
- 山田室長 市とみんなの会とも意見交換を行う。できるだけ早い段階で行えるように改めて時期は調整させていただければと思う。
- (愛知県住宅供給公社) 大秋委員 駐車場問題に関して中央広場などでイベントを行う際に、団地内の住民については徒歩でのアクセスが容易だが、外部から参加していただく方の駐車場を用意することが菱野団地再生計画を進展させると考えている。
- 石川会長 センター地区にはみんなの会の活動拠点やNPO団体など様々な機能があるため、できるだけいろいろな人が来やすい方がよい。
- 水野委員 令和8年度の実施内容に対する予算を今時点でどのくらい見込んでいるかお聞きしたい。
- 事務局 菱野団地再生計画の予算については、当協議会の報酬費と昨年度と同等の住民バスの予算のみとなっている。
- 水野委員 菱野団地再生計画は令和10年度までの計画になるが令和11年度以降の取り組みについて、菱野団地再生計画は令和11年度以降終了となってしまうのか現段階での考えを教えてください。
- 事務局 現段階では、令和11年度以降の取り組みについては継続する、しないということも含めて未定。
- 今後も当協議会のあり方や菱野団地再生計画の内容の見直しが必要であると考えているが、菱野団地再生計画が終了したら伴走支援を終了するという事は事務局としては考えていないため、引き続き協力体制を整えていきたいと思っている。
- 渥美委員 公社に伺うが、愛知県賃貸住宅供給促進計画の中の文章で「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給推進施策」に「地域の住居環境や施設の立地状況等を踏まえ、多文化共生や子育て支援、まちづくり等の活動拠点としても活用可能な供給公社の集会所等の整備と自治会の活動が円滑に行われるための支援」と記載があるが、みんなの会はこの支援の対象になる活動を行っている。計画にある支援という理念を菱野団地でどのように具現化していただいているのかをお尋ねしたい。
- 石川会長 この場でお話いただくのは難しいと思うので、みんなの会との意見交換を行う際に回答していただければと思う。
- 水野委員 令和7年度の実施状況を、実施したことだけではなく実施内容に対する評価を記載していただいた方が来年度に向けた改善内容も見えてくるため、来年度以降資料の記載方法を改善していただきたい。
- 石川会長 この協議会はPDCAサイクルを回す場でもあるため、今年度の活動を評価して次に生か

していくために資料の方も改善をお願いできればと思う。

#### **4. 再生計画の目標達成状況（資料3）**

○事務局からの資料説明

○質問・意見交換等

- 服部委員 菱野団地再生計画の目標値を達成するために、今年度実施した計画や考えをお聞きしたい。
- 事務局 菱野団地再生計画策定時、瀬戸市の総人口に対しての減少率に合わせて目標値を作成したが、現状の実績値を見ると資料1と資料2の中で説明した活動を積み重ねていき人口減少を少しでも抑えていけるようにしていくことが現状の目標になっている。個々の活動が個々の目標値に紐づいているというより、全体の活動を通して少しでも数値を維持していける取り組みをしている。
- 石川会長 この目標値はアウトカム目標の数値で全体的にうまくいっているかどうかをチェックするためのものになる。何かの施策と結びつけるということは難しいが、目標値に届かせるために数値が減少している要因を考えていくことも大事である。
- 北村委員 成果資料と目標値の⑥と⑦の数値は光陵中学校で同じようなアンケートを取った際には記載してある実績値よりも低い数字であったため、年代ごとでの住みやすさと居住意向の数値を出して整理をした方がよいと考える。  
現在県営住宅の入居戸数の数値は八幡台の県営住宅の建て替えが始まっており、八幡台の県営住宅から原山台の県営住宅に移ってきた方もいるためグラフで単純に入居戸数が減った増えたではなく中身まで細かく見ていただきたい。
- 水野委員 成果指数と目標値に対する実績値を記載するだけではなく市が今の実績値に対してどのようにとらえたのかを記載していただけるように来年度以降改善していただきたい。  
この菱野団地再生計画のメインテーマは人口を増やすことだと考えている。県営住宅の建て替えを行う考えと、それに伴い流入者が増加するかと考えるが、それに向けた瀬戸市の今後の取り組みについて教えていただきたい。また愛知県と瀬戸市でどのような協議を行っているかをお聞きしたい。
- 事務局 県営住宅の建て替えに関しては今後の建て替えなどの情報提供を受けている。戸建て住宅の空き家数は少ないため、ある程度戸建て住宅の住み替えは進んでいると考えている。今年度で廃校になる原山小学校の跡地活用方法などは他部署と協力して進めていきたいと考えている。
- 佐藤担当課長（愛知県公営住宅課） 県営住宅の建て替えについては、現在県営住宅に入居している方々に対しての入居保障としての建て替えであり、新たに菱野団地外からの入居者を増やすことを目的としていない。

石川会長 今後、県営住宅の建て替えを行っていく際に空き室ができた場合、どのような人に入居していただく予定なのか。

佐藤担当課長 空き室になった場合は一般の方を募集するが、基本的には建て替え前の県営住宅入居者(愛知県公営住宅課)に建て替えた県営住宅に入居していただく。

石川会長 そのような運用をしていると高齢者が増えて年齢層に偏りが出てしまい地域コミュニティなどで課題が出てきてしまうと思うが、どのような計画になっているのか。

佐藤担当課長 県営住宅は低所得者向けの住宅なので、高齢者の割合が高くなってしまいう傾向にある。(愛知県公営住宅課)

## **6. 「南山大学 石川教授 研究報告」**

○石川会長からの資料説明

## **7. 「名城大学 鈴木教授 研究報告」**

○鈴木委員からの資料説明

石川会長 県営住宅の話も出てきたが、愛知県から補足や今後の建て替えの計画など共有していただきたい。

佐藤担当課長 現在原山台住宅と八幡台住宅の建て替え工事を行っている。  
(愛知県公営住宅課) 萩山台住宅は今後の建て替えに向けて動き始めている段階だ。

○今後の予定

- ・第9回協議会は、令和8年度末に開催する予定。

以上